

<新潟市西蒲区健康福祉課・社会福祉法人まき福祉会 様>

上映日:2018/08/18(土) 場所:新潟市巻地域保健福祉センター(新潟県新潟市)



上映会は、地域住民の方々にとって絶好の共通体験と話題づくりになります。

●上映会を開催するに至った経緯を教えてください。

法人の職員に見てもらいたいと思い法人内の認知症ケア委員会にて、研修で上映できないか提案しました。上映会を行う方向で話を進める中で「地域の方にも見てもらいたい」という話になり、区役所の健康福祉課との共催という形で開催しました。地域の方に認知症や介護の仕事について理解を深めてもらう、職員に目指すものを共有していく為の土台作りを行うことを目的に開催しました。

●実行委員会は、どのようなメンバーでしょうか？

区役所健康福祉課、まき福祉会認知症ケア委員で構成しました。

●協力の得られた団体はありましたか？

まき福祉会に地域支援課があり、その活動で関わりのある老人会や地域のサロン活動をしている方々に呼び掛けしたところ、自主的に声を掛けあい、まとまって参加していただきました。

●資金はどのように捻出しましたか？

必要な経費はまき福祉会の経費として対応しました。行政との共催であったため、会場費や市の広報誌への掲載は無料でした。

●地域へどのように告知をしましたか？

チラシを作成し施設へボランティアで来られる方、定期的に法人のイベントに参加される方へ直接声をかけたり、周辺地域への回覧板で告知を行いました。まき福祉会の地域支援課の活動の出前講座等を通じ、講座に集まった方々に呼び掛けました。まき福祉会との関連で見に来た方は全体の76%です。

●上映会当日の様子や、上映会開催の感想を教えてください。

鑑賞して下さった地域の方は高齢者が大半で「親の介護を思い出した」「自分が(認知症に)なったら、こんな介護をしてほしい」との意見が多く聞かれました。

また、老人会の方々が「一緒に見に行こう」と声を掛け合ってください、歩いてくることの難しい方9名が老人会の経費を使いタクシーで来てくださったのが印象に残っています。

●地域の方々と繋がったエピソードがあれば教えてください。

認知症の理解、本人の思いをたくさんの方に知って欲しいと思い、開催会場付近に巻図書館があるため、上映会に合わせ「認知症の本人が書いたブックフェア」を行いました。その後、西川図書館でも実施する予定です。

●今後、上映会を開催される主催者の皆さんに向けて、メッセージをお願いします。

介護の事、認知症の事、終末期のことは誰もが関係ある事です。地域住民の方にとって「ケアニン」上映会は、各コミュニティで話し合ったり考えたりするのに、絶好の共通体験と話題づくりになります。また、介護現場についての理解を深める機会となります。福祉関係者だけにとどまらず、地域の方へ向けた上映会を実施してはどうでしょうか。

ご担当者：
社会福祉法人 まき福祉会
小林 恵美さん